

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

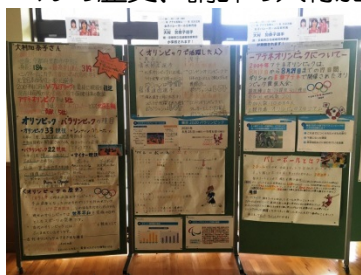
道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 南丹市立園部中学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	(1) 講演会 南丹市立園部中学校全校生徒（375名） 教職員（35名）、保護者（20名） 南丹市立園部小学校6年生（120名） (2) 実技講習会 南丹市立園部中学校女子バレーボール部員（7名） 南丹市園部第二小学校6年生（1名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ 実技講習会 ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの精神の理解と、オリンピックの生き方に触れることで自分自身を振り返り、より高い目標を目指し、希望を持ってやり抜く強い意志を育てる。 また、オリンピックに出場した大村加奈子氏からの講演から、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての興味・関心を高めるきっかけとしたい。
5 取組内容	(1) 事前学習の実施 ①オリンピック・パラリンピックの歴史についてのDVD視聴 スポーツ庁作成の「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料」を用い、オリンピック・パラリンピックの歴史についての理解を図った。  ②道徳授業でのオリンピック・パラリンピック教材の利用 1年生では、講演会前に「栄光の架橋」という題材で道徳を行った。これは副教材の資料で、アテネオリンピック・パラリンピックの放送用テーマソングを担当した歌手の制作秘話についての内容だった。曲や当時の映像、画像を見て困難や失敗から立ち向かう勇気や希望について考える機会となった。

### ③壁新聞の作成

女子バレーボール部を中心にオリンピック・パラリンピックに関してまとめた新聞を作成・掲示した。また、女子バレーボールの歴史、講師の大村加奈子氏の略歴を掲示した。



### ④講師の大村加奈子氏の紹介DVDの放映

2004年アテネ・2008年北京オリンピックで活躍されている映像を編集し放映して講師の紹介をした。また、講演会に向けて講師に聞いてみたいこと等の質問を記入させた。



## (2) 講演会の実施

日時 令和元年 11月29日(金) 13:25~14:15

演題 「大村加奈子先生の生き方に学ぶ」

講師 京都府立北嵯峨高等学校保健体育科教諭

大村 加奈子氏(2004年アテネ・2008年北京オリンピック女子バレーボール日本代表選手)

#### 講演内容

生徒代表3名が登壇し、事前に収集した講師への質問を中心にインタビューをする方式とした。

日本代表の練習、オリンピック選手村の様子、オリンピックに出場した心境や中学生へ期待することを講演していただいた。

#### (生徒の感想から)

- 「限界は全力でやり続けた先にある」という言葉がとても印象に残った。今の自分に1番必要な言葉だったかもしれない。困難にぶつかったとき、私はすぐに「無理だ」と思っていたが、限界は自分の心が勝手に線を引いているだけであった、「まだまだできるんだ」と思うようにしていきたい。これから受験があり、先行きが不安ですが、今日学んだことを心に留めて頑張っていきたい。
- 私もバレーボール部で、最高学年になってから2回ケガをしてしまった。「なんで私だけが…」とあって、最後まで腐っていた。大村先生もケガとの闘いで、「何もできない」と思っていた時に日本代表の柳本監督が「ケガしているのは膝だけやろ？他のことはできるやろ？」と言われた話を聞いて、もっと自分はチームに出来ることがあったのではないかと感じた。

- ・何においても、僕は緊張しやすくして試合でも焦ってしまう。オリンピックに比べたら全然大したことの無いことだが、今日、日の丸を背負って数々のプレッシャーを感じてこられた大村先生の話聞いて「ありのままがいいんだ」と思った。自分は自分だし、それ以上でもそれ以下でもない。そのための努力は一生懸命しなければいけないが、自信をもっていきたい。



### (3) 実技講習会の実施

日時 令和元年 11 月 29 日 (金)

場所 南丹市立園部中学校体育館

講師 京都府立北嵯峨高等学校 保健体育科教諭  
女子バレーボール部監督 大村 加奈子氏

#### 指導内容

普段の女子バレーボール部の練習を行い、気づいたところをアドバイスしていただく形で行った。また、園部第二小学校の6年生1名も参加し、小学生と中学生で講習を受けた。

「基本練習を大切に!」「元気よく!」というアドバイスやブロックの際には、タイミングよく跳ぶことや手の使い方をアドバイスされると生徒たちは熱心に、真剣な表情で聞き入っていた。



### (4) 事後指導

講演会終了後は、全校生徒が講演会を聞いての感想を記入し、自分なりのふり返りを行った。また、クラスによっては班でふり返りの共有を行った。さらに、女子バレーボール部は実技講習会で学んだ内容や感想を文集としてまとめた。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1, 2年生は部活動の新人大会が終了し、目標を再設定する時期となり、3年生は期末考査を終え、本格的な受験勉強に向かう時期に開催したことにより、「自分に限界をつくらない」等の自分と向き合う大切さについて講演してもらったことで、前向きな学校生活を送ろうとする生徒の姿が見られた。</li> <li>• 昨年度から行っているオリンピック・パラリンピック事業により、道徳や国際理解教育など様々な分野からオリンピック・パラリンピックを題材にすることや世界に視点を向けた授業展開を行うことができており、教員間でもオリパラ教育の意識が高まってきている。今年度は外務省から講師を迎え、「発展途上国への日本の支援」についての講演を聞き世界とつながる日本を意識することができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講演会だけの単発的な事業にするのではなく、各学年で国際理解に係る授業や道徳等でオリンピック・パラリンピックに関する内容も入れ、年間を通した活動にすることができた。</li> <li>• 事前学習では、本校は全教室へTV放映が可能であるため、スポーツ庁作成の「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料」を用いて行った。</li> <li>• 園部小学校の6年生と合同で講演会を開催したことによって、校種間を超えた交流を行うことができた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実施にあたり、校内での指導体制の確立をどのようにしていくのが課題である。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 来年度もオリンピック・パラリンピックに出場した選手の講演会とともに、教育課程とのバランスを考えながら、年間を通して、道徳や総合、教科横断的な活動として本校のオリパラ教育を確立させていきたい。</li> </ul>